

- ・ 県、市町村、指定地方公共機関¹⁷及び登録事業者¹⁸によるインフルエンザ発生時の業務継続計画の作成など、事前の十分な準備。
- ・ 帰国者・接触者外来医療機関¹⁹、感染症指定医療機関、入院協力医療機関²⁰との訓練及び地域対策連絡会議²¹の実施による地域の関係者との密接な連携等。

(2) 人獣共通感染症対策

- 人獣共通感染症対策を推進するために、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」及び同条例に基づき策定した「福岡県ワンヘルス推進行動計画」、並びに「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」に掲げる施策に取り組み、教育・啓発による県民への理解の促進、ワンヘルスを実践する中核拠点であるワンヘルスセンターの整備、アジア各国、九州各県、大学、研究機関と広域的に連携して、人獣共通感染症対策と薬剤耐性対策を行うアジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）の誘致、世界トップクラスの研究者による国際会議の開催などに取り組みます。

【目標の設定】

区分	項目	流行初期	流行初期以降
医療提供体制	① 入院病床数（感染症病床は除く）	350 床	2,000 床
	うち重症者用	うち 80 床	うち 200 床
	② 発熱外来機関数	55 機関	2,100 機関
	③ 自宅療養者等への医療提供機関数	/	ア 1,000 機関
	ア 病院・診療所		イ 1,000 機関
	イ 薬局		ウ 150 機関
ウ 訪問看護事業所			
④ 後方支援機関数		200 機関	
物資の確保	⑤ 人材派遣人数		医師 20 人
			看護師 20 人
⑥ 個人防護具を十分に備蓄する協定締結機関数	協定締結医療機関（病院・診療所・訪問看護事業所）のうち 8 割以上		

¹⁷ 指定地方公共機関：社会的責務を有する、医療、医薬品又は医療機器の製造又は販売、電気又はガスの供給、輸送、通信その他の公益的事業を営む法人で知事が指定するもの。

¹⁸ 登録事業者：医療の提供又は国民生活・国民経済の安定に寄与する業務を行う事業者で、特定接種の対象として厚生労働大臣の登録を受けているもの。

¹⁹ 帰国者・接触者外来：県内発生早期に新型インフルエンザ等の発生源からの帰国者や接触者であって、発熱・呼吸器症状等を有する者に係る診療を行う外来。

²⁰ 入院協力医療機関：新型インフルエンザ等患者の入院治療が可能な医療機関。

²¹ 地域対策連絡会議：（二次医療圏等の圏域を単位とし）保健所を中心として、地域医師会、地域薬剤師会、指定（地方）公共機関を含む地域の中核的医療機関（独立行政法人国立病院機構の病院、大学付属病院、公立病院等）や医療機関、薬局、消防等の関係者からなる対策会議。

(8) 新興感染症発生・まん延時における医療等

番号	指標名		単位	全国	福岡県	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	調査名等	調査年
H-1	新型コロナウイルス感染症対応実績 (令和4年12月時点)	入院病床数	(計)	床	51,115	2,024	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	厚生労働省調	R4
H-2			(うち重症者)	床	4,297	217	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
H-3		発熱外来機関数	機関	41,950	2,045	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
H-4		自宅療養者等への医療提供機関数	病院・診療所	機関	27,115	1,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
H-5			薬局	機関	27,270	2,015	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
H-6		訪問看護事業所	機関	2,824	47	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
H-7		人材派遣人数	医師	人	2,056	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
H-8			看護師	人	4,010	24	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		